

## 小委員会の調査報告書

教科名	国語	委員長名 吉 崎 健 一
調 査 研 究 の 経 過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。今回は、特に調査委員の研究も兼ね、3つの教科書を低・中・高学年に分け、担当者を決め調査研究を進めることにした。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍(東書)、教育出版(教出)、光村図書(光村)の3者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p style="padding-left: 20px;">調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調 査 研 究 に 当 た っ て の 配 慮 事 項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p style="padding-left: 20px;">上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少 数 意 見 そ の 他		

様式 2

教科名		国語 (1・2年)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 あたらしい こくご一上・下 新編 新しい 国語二上・下	109 110 209 210	教育出版	ひろがることばしょうがくこくご一上・下 ひろがることば小学国語二上・下
取 扱 内 容 ・ 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識及び技能については、昔話を聞いたり読んだりして、好きな場面を伝える活動や、物の名前を表す言葉を使ってしりとりをしたり、仲間分けや反対の意味の言葉を探したりする活動が取り上げられている。</li> <li>○話すこと・聞くことについては、思ったことを話したり聞いたりして話をつなぐ活動や、大事な事を落とさず聞く活動、出来事の順に話したり、伝えたいことを選んで話したりする活動が取り上げられている。</li> <li>○書くことについては、知りたいことについて本で調べて、「乗り物カード」を作る活動や、家でどんなことをしているかを友だちがわかりやすいように、組み立てを考えて文章を書く活動が取り上げられている。</li> <li>○読むことについては、物語を読んで好きなところを見つけたり、人物の様子を想像して読んだりする活動や、どんな順序で説明されているかを考えたり、大事な言葉を探しながら読んだりする活動が取り上げられている。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の活動については、「ことばの力」や「学しゅうのながれ」で「みとおす」「とりくむ」「ふりかえる」と学習の流れが提示されており、見通しをもって学習に取り組める工夫がなされており、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</li> <li>○内容の構成・排列については、第1学年で、登場人物の設定を考えながら物語を書く活動、第2学年で、絵を見て場面のつながりを考えながら物を語書く活動を扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識及び技能については言葉遊びなどで伝統文化に親しみ、昔話などの読み聞かせを聞いて面白いと思ったところを発表する活動や、言葉探しゲームで似た意味の言葉をまとめる活動が取り上げられている。</li> <li>○話すこと・聞くことについては、聞きたいことや大事な事を落とさず聞いたり、質問したり答えたりしてつないで話し合う活動が取り上げられている。</li> <li>○書くことについては、友達に知らせたい乗り物についてカードを書いたり、写真を見て想像したことを基にお話を考えて書いたり、順序に気をつけておもちゃ作りの説明書を書いたりする活動が取り上げられている。</li> <li>○読むことについては、単元扉を設け、学習の見通しが持ちやすいよう工夫されている。文章と絵を結び付けて読むことのよさについて考えたことを伝え合う活動や、あらすじや心に残ったところなどをまとめて紹介する活動が取り上げられている。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の活動については、学習のてびき「見通しをもとう」で、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」と学習の流れが提示されており、「ここが大事」では、重点指導事項に対応し、汎用性のある用語やポイントが紹介されている。</li> <li>○内容の構成・排列については、第1学年で、身の回りの生き物についてよく見て、友達に知らせたいことを文章で書く活動、第2学年で、身の回りで見つけたものをよく見て様子が伝わるように詳しく文章で書く活動を扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>		
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生の入門期は、関係作りを始める言葉や、コミュニケーションを図る言葉など、児童の経験や関心を言葉や文字の学びにつなぐ工夫がなされている。また、語句のまとまりを捉えやすくするために、1、2年の教材では文節改行が施されている。</li> <li>○1年生では、声の大きさや話す速さに気をつけて話す活動、2年生では、大事なところが伝わるように話す活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書単元「本は友だち」を掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○児童が主体的に学習に取り組めるよう、2年生では「ことばの力を集めよう」で、当該学年で学習する単元とそこで習得したい「ことばの力」を示している。</li> <li>○独自開発の教科書体を中心に、UDフォントも使用。また、二次元コードを掲載し、単元の導入や「話すこと・聞くこと」のモデル動画などが活用できるようになっている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生の入門期は、楽しく親しみやすい紙面になっており、安心して言葉の学びに慣れていけるような工夫がなされている。</li> <li>○1年生では、初めて知ったことを友達に伝える活動、2年生では、友達の話とつないで話し合う活動を通して、相手意識や目的意識を明確に伝えるとともに、単元後の「本を読もう」で、その学習に関連する図書の紹介を紹介したり、多様なテーマの図書を紹介した「読書のひろば」を掲載したりして、読書の日常化を促すようなつくりになっており、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○巻頭の「〇年生で学ぶこと」でどのような内容を学び、どのような言葉の力をつけるのかが一目でわかりやすく示している。</li> <li>○教科書体を基本とし、UDに配慮したオリジナルフォントを使用。また、「まなびリンク」(二次元コード)はウェブサイトと連動していて充実した情報が取り出せるようになっている。</li> </ul>		
そ の 他	○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。		

教科名		国語（1・2年）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		光村図書	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ	113 114 213 214		
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○知識及び技能については、昔話の読み聞かせを聞いたり、お話を讀んだりして、面白かったところや好きな場面を伝え合う活動や、程度や様子を表す言葉、たとえを使って文を作る活動が取り上げられている。</p> <p>○話すこと・聞くことについては、友達と考えを出し合い相談しながら問題を作ってクイズを出し合う活動や、質問をして、相手の考えを引き出す活動が取り上げられている。</p> <p>○書くことについては、知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や、はじめ・中・終わりのまとまりに分け、組み立てを考えて書く活動が取り上げられている。</p> <p>○読むことについては、役割を決めて音読したり動きをつけたりする活動や、説明的な文章を讀んで考えたことを友達と伝え合う活動が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の活動については、「がくしゅう」において、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と学習の流れが提示されており、「たいせつ」「いかそう」では、身につけた力を生かすための視点が示されている。</p> <p>○内容の構成・排列については、第1学年で、学校にいる生き物や、学校で見つけたものを知らせる文章を書く活動、第2学年で、町の中で見つけたもののよさが伝わるように組み立てを考えて文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>					
使用上の配慮等	<p>○1年生の入門期は、「知りたい」「やってみよう」という意欲を育むとともに、確かな言葉の力と学びの習慣の基礎をつくる工夫がなされている。</p> <p>○1年生では、夏休みの出来事を友達に知らせる活動、2年生では、考えを出し合い、話をつなげる活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の利用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本はともだち」を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組めるよう、2年生では「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や言葉の力をしめしたり、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○自社作成の教科書体やUD書体を使用。また、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料、などが活用できるようになっている。</p>					
その他	○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。					

様式 2

教科名		国語 (3・4年)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 新しい国語三上・下 新編 新しい国語四上・下	309 310 409 410	教育出版	ひろがる言葉小学国語三上・下 ひろがる言葉小学国語四上・下
取扱内容、内容の構成・排列	<p>●国語科の目標を達成することができるよう、「1国語の学びが止まらない」「2ぐんぐん伸びる、国語の力」「3未来を生きる君だから」の3つの特色をもって、学習活動が構成されている。</p> <p>○「1国語の学びが止まらない」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞く」「書く」「読む」の各単元で、身に付ける資質能力を「言葉の力」として明示している。「見通す、取り組む、振り返る」の3つのステップで言葉の力の獲得を目指す。</li> </ul> <p>○「2ぐんぐん伸びる、国語の力」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ1つの単元に限らず、単元間の有機的なつながりをもって情報活用能力を高める。</li> <li>・「多層指導モデルMIM」の指導法をふまえ、入門期の子どもたちが読み書きでつまずきやすいポイントを手厚くフォローする。</li> </ul> <p>○「3未来を生きる君だから」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを読み取ると、学習内容に関連するQRコンテンツにアクセスでき、授業や家庭学習などのあらゆる場面で子どもたちの学びをサポートする。</li> <li>・SDGsをはじめ、現代的諸課題に関連の深い教材を数多く取り上げている。</li> </ul> <p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。身の回りにある物をローマ字で書いたり読んだりする活動や、いろいろなことわざや故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりする活動</p> <p>○話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。メモを取りながら人の話を聞く活動や、司会や提案者などの役割を意識して話し合う活動</p> <p>○書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。大事なことが伝わるように、案内の手紙を書く活動や、書いた文章を読み返し、よいところを確かめる活動</p> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3学年で、登場人物の様子や場面を想像して音読で表す活動、第4学年で、登場人物の気持ちを想像して音読で表す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			<p>●国語科の目標を達成することができるよう、「1学びが見える」「2学びがわかる」「3学びが生きる」の3つの柱で、学習活動が構成されている。</p> <p>○「1学びが見える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」教材の主要單元には単元扉が設けられ、「学習の見通し」と“振り返り”が1本の線でつながっていることで、子どもたち自身が、どんな力が身につくのかを自覚しながら学習に取り組むことができる。</li> <li>・「学習のてびき」の学習活動に、学習過程に対応した4ステップの学習内容が示されている。下段には、子どもの反応例やキャラクターの言葉が示され、子どもの主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっている。</li> </ul> <p>○「2学びがわかる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、多様で活発な言語活動が設定されている。必要感のある課題に主体的に取り組むことで、他者と協働しながら言葉の力を育むことができる。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を支える「知識および技能」の指導事項を取り立てて教材化している。</li> </ul> <p>○「3学びが生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭で、1年間の学習の見通しが持てるようにしている。巻末では、学習したことを振り返る機会が設けられていて、その後の学習への意欲を高められるようにしている。</li> <li>・「生きてはたらく言葉の力」を身に付けられるようにしている。国語にとどまらず、他教科の学習など実生活に生きる言葉を身に付け、自ら世界を広げていこうとする意欲を高めることができる。</li> </ul> <p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常使われている簡単な単語についてローマ字で読んだり書いたりする活動や、故事成語などの意味を調べてカードを作り、相手に紹介する活動</li> </ul> <p>○話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や、役割に気を付けながら話し合う活動</li> </ul>		

<p>取扱内容、内容の構成・排列</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学したり調べたりしたことをまとめて報告するリーフレットを作る活動や、想像したことを基に、設定や展開を考えながら物語を書く活動</li> </ul> </li> <li>○読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで考えたことをまとめる活動や、登場人物の性格や気持ちの移り変わりについて分かったことを伝え合う活動</li> </ul> </li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり、大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</li> </ul> </li> <li>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年で、自分の気持ちが相手に伝わるように礼状を書く活動、第4学年で、送る相手や伝える目的に合わせた手紙や電子メールを書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</li> </ul> </li> </ul>
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝えたいことが相手に伝わるように、工夫して話す活動（第4学年）や相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書単元「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。「言葉の力を集めよう」で当該学年で学習する単元と「言葉の力」を示したり（第2～6学年）、「言葉の力のつながり」で「言葉の力」の系統表を示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○独自開発の教科書体を中心に、文字の小さな箇所にはUDフォントを使用したり（全学年）、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置や色使いを工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、単元導入の動画やアニメーション、「話すこと・聞くこと」のモデル動画等を活用できるようにする（第2～6学年）など、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人の話を聞いて、初めて知ったことを友達に伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い、読む人の興味を引く図鑑を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○「ひろがる言葉」でどのような内容を学び、どのような言葉の力を身に付けるのかを示したり（全学年）、各単元で言語活動の具体的な場面をイラストや図版で示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○教科書体を基本としながら、UDに配慮したオリジナルフォントを使用したり（全学年）、色調のバランスや形の上で区別しやすいようカラーUDに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

様式 2

教科名 国語科(3・4年)						
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	光村図書	国語三上 わかば	3 1 3			
		国語三下 あおぞら	3 1 4			
		国語四上 かがやき	4 1 3			
		国語四下 はばたき	4 1 4			
取扱内容、内容の構成・排列	<p>●国語科の目標を達成することができるよう、「1学び方がわかる」「2学ぶ楽しさがある」「3学びがつながる」の3つの柱で、学習活動が構成されている。</p> <p>○「1学び方がわかる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問いを立てて学習する子の育成を目指すため、巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設け、学びの流れを視覚化している。</li> <li>・各単元の学習は、巻頭で示した学びの流れと同じにすることで、学び方そのものが定着する構造となっている。</li> </ul> <p>○「2学ぶ楽しさがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の「読みたい」気持ちを引き出せるように、多彩やジャンルやテーマの文章・作品がそろえられている。</li> </ul> <p>○「3学びがつながる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の学びがつながるように、一人一人が、自分にとっての一年間の目標を立てたり、自分ができるようになったことを振り返ったりするページが設けられている。</li> <li>・学びが単元を超えてつながるように、各領域の系列を整理し、学んだことを活用できるようになっている。</li> </ul> <p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りで使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動</li> </ul> <p>○話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問しながら友達の話詳しく聞く活動や、学級全体で話し合いの議題を決め、役割を意識しながら話し合う活動</li> </ul> <p>○書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの仕事取材してレポートにまとめる活動や、災害への備えに対する自分の考えを書く活動</li> </ul>					

	<p>○読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで考えたことをまとめ、伝え合う活動や、登場人物の気持ちの変化について考えをまとめ、交流する活動</li> </ul> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の説明の仕方の工夫を見付けながら読んで考えたことを伝え合ったり、物語を読んで登場人物の気持ちの移り変わりについて考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</li> </ul> <p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年で、相手に必要なことが伝わるように行事を案内する手紙を書く活動、第4学年で、相手に気持ちが伝わるように礼状を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</li> </ul>	
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○夏休みの出来事を友達に知らせる活動（第1学年）や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり（第2～6学年）、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○自社作成の教科書体や着目させたい箇所及び文字の小さな箇所などにUD書体を使用したり（全学年）、複数の情報の識別が必要な図版の色の組み合わせや色調に配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビュー等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>	
<p>その他</p>	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

様式 2

教科名		国語					
	出版社名	教科書名	番号		出版社名	教科書名	番号
		教育出版	ひろがる言葉小学国語五上・下 ひろがる言葉小学国語六上・下	511 611	512 612	東京書籍	新編 新しい国語五 新編 新しい国語六
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○知識及び技能のうち、言葉の特徴や使い方に関する事項については、日常の言語生活から題材を取り上げ、活動を通して言語的な知識についての理解を促す構成になっている。</p> <p>○話すこと・聞くことについて、話し合い・報告・発表・説明・討論、児童の実生活に結びついた活動となるよう工夫している。</p> <p>○書くことについて、目的がはっきりした実用的な文章から、自分の心と向き合う自己を表現する文章までの多様な文種を位置づけて展開している。</p> <p>○読むことについて、単元の学習の目的に応じた読みを意識づけ、「学習のてびき」で「言葉による見方・考え方」が働くように学習過程が明確になっている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を資する学習への対応として、指導内容を適切なタイミングで、かつ反復的に扱えるように教材が配置されている。</p> <p>○1・2年、3・4年、5・6年の各2年間を通して系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年上下巻構成となっていて、教材への出会いの工夫がされている。</p>				<p>○知識及び技能について、漢字・文法と語彙・情報の扱い方など、繰り返し扱うよう配慮されている。</p> <p>○話すこと・聞くことについて、インタビュー、目的や意図を明確にした話し合いなどを題材として主体的に考えたり、社会の現状や在り方について考えを述べたりする学習活動が配置されている。</p> <p>○書くことについて、相手や目的に応じた文章や、意見文など日常生活の中で自分の思いや考えをもち、まとめ、広げられるようにしている。</p> <p>○読むことについて、読み継がれる文学教材や、子どもたちの好奇心を誘う説明文など、表現の効果に気付くことができる工夫がされている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現を資する学習への対応として、単元冒頭の「学習の流れ」で単元の学習への見通しを持てるよう工夫されている。</p> <p>○1単元1領域を原則として指導事項を重点化し、活動の目的や条件にそった課題解決的な学習を通して、必要な思考力、判断力、表現力等が身につくよう工夫している。</p> <p>○年間で1冊の構成となっていて、単元を入れ替えたり見直しをもったりしやすい構成になっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○単元・題材ごとにてびきを提示し、具体的な言語活動を児童がわかるように目標として設定し、学習の展開や段階を明示して見直しをもちやすくする工夫をしている。</p>				<p>○学習過程を見通し、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を確認し、「見通し」と「振り返り」を重視した単元構造になっている。</p>		
その他	<p>○単元・題材に連動して二次元バーコードにより、資料や動画などを見ることができる「まなびリンク」が設けられている。</p>				<p>○単元・題材に連動して二次元バーコードによるQRコンテンツが用意されている。「話すこと・聞くこと」のモデル動画、漢字や言葉の学習の練習問題を見ることができる。</p>		



様式 2

教科名		国語				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	光村図書	国語五 銀河 国語六 創造	513 613			
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○知識及び技能について、「単元」「コラム」「特設単元」で構成することで、「思考力、判断力、表現力等」と適切に組み合わせ、言葉の力を着実に身につくよう構成されている。</p> <p>○話すこと・聞くことについて、子どもが、自然と「話したくなる」「聞きたくなる」話題と活動を、1年間の指導がバランスよく系統的に配置されている。</p> <p>○書くことについて、調査報告、意見、提案、俳句・物語や短歌の創作などの学習に取り組めるようバランスよく系統的に配置されている。</p> <p>○読むことについて、長く掲載されている文学的作品や、現代社会を生きる子どもたちにふさわしい説明的な文使用など、工夫して教材文が配置されている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」について、学年のはじめに見通しをもつことができるよう、領域別に学習内容が整理されている。</p> <p>○年間で1冊の構成となっていて、単元を入れ替えたり見直しをもったりしやすい構成になっている。</p> <p>○「見直しをもとう」で、学習の過程をわかりやすく提示するとともに、身に付けるべき内容が補完されていて学習の見直しをもつことができる。</p>					
	使用上の配慮等	<p>○巻頭に、学年ごとに国語をなぜ学ぶのかを考え、何をどう学んでいくのかを確かめる巻頭ブックインブック「国語の学びを見わたそう」を掲載している。</p>				
その他	<p>単元・題材ごとに二次元バーコードが掲載されていて、リンクを開くことでインタビューの実例など教科書を補う動画などを見ることができる。</p>					

# 小委員会の調査報告書

教科名	書写	委員長名 吉 崎 健 一
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍(東書)、教育出版(教出)、光村図書(光村)の3者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
	調査研究に当たった際の配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>
少数意見その他		

様式 2

教科名		国語（書写）				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		東京書籍	新しい書写	106 206 306 406 506 606	教育出版	小学 書写
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○硬筆については、低学年では点画の長さや方向に気をつけ、中学年では漢字や仮名の大きさに注意して形を整えて書き、高学年では用紙との関係にも注意しながら文字の配列を意識して書く内容となっている。</p> <p>○毛筆については、中学年で点画の書き方への理解を深めながら筆圧などに注意して書くこと、高学年で穂先の動きと点画のつながりを意識して書く内容となっている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連では、硬筆で共有した課題を毛筆で確認し、再び硬筆で別の文字を書くことで定着を図る展開となっており、毛筆が硬筆で書く力の基礎となるように構成されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習事項を児童が日常の課題にもつなげ、教科書を手段として解決した上で、他の教科や生活にも生かせるように構成されている。</p> <p>○内容の構成・排列については、低学年は、点画の確認から字形や文章の表記へ、中学年は、毛筆における1字の漢字の点画、筆使いから2字の漢字の組み立てやひらがなの筆使いへ、高学年は、点画の組み立てや配列から様々な筆記具や用紙に書くなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p>			<p>○硬筆については、低学年で書く姿勢や筆記具の持ち方、筆順や文字の形に気をつけ、中学年で文字の大きさ、配列に注意して書き、高学年で用紙と文字の大きさ・配列や書く速さを意識して書く内容になっている。</p> <p>○毛筆については、朱墨と薄墨により示した図版により、中学年では点画の書き方や筆圧に注意して書くこと、高学年では穂先の動きや点画のつながりを意識して書く内容となっている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連では、授業のはじめに「ためし書き」、終わりに「まとめ書き」をそれぞれ硬筆でおこなうことで、毛筆の学習で成長した点に気付くことができる。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習ステップがわかるアイコンの提示により、子ども自らが学習手順を理解できるようにするとともに、学習の最終ゴールを「目的を考えて書く力を育てること」とし、学習内容が日常生活に繋がる教科書構成としている。</p> <p>○内容の構成・排列については、低学年は、なぞり書きができるページを配することで適切な運筆ができる工夫が、中学年は、暑中見舞いや短歌・俳句などを書く活動を通して日本の伝統や文化を体感できる工夫が、高学年は、はがきや手紙、依頼状や案内状を書く活動により幅広く書写の学習を生活に生かせるようにするなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○課題解決のヒントを与えるキャラクターが随所に登場したり、他教科とのつながりを「リンクマークで表し他教科との関連を分かりやすく示したりしている。</p> <p>○系統的に整理した学習事項それぞれのポイントを「書写のかぎ」として示したり、配色やデザインの配慮やユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○運筆を「とん」「すうっ」「びたっ」などの音声やキャラクターの動作で表すことで体感的に学習を進めることができる。</p> <p>○子どもの書字例や活動写真を示した「学習の進め方」を掲載し、自分で課題解決を進めるための具体的方法を示している。</p> <p>○色覚等の特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、手書き文字と近い形で学習できるフォントなど、ユニバーサルデザインを取り入れている。</p>		
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○QRコンテンツでアニメーションやシミュレーション、毛筆の運筆動画等が視聴できる。</p>			<p>○表紙に抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっている。</p> <p>○教科書教材が二次元コード「まなびリンク」と連動し、全ての毛筆教材について運筆動画を視聴できる。</p>		

様式 2

教科名		国語（書写）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	光村図書	書写	108 208 308 408 508 608			
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○硬筆については、低学年で点画の組み立てや字形、字の中心を整えて書くことを、中学年で文字の大きさや字間のバランスを整えて書くことをことわざや俳句を題材にしながら、高学年で用紙の違いや情報の内容による文字の大きさや配列の違いをポスターやパンフレットを題材として学習できるようになっている。</p> <p>○毛筆については、中学年で文字の組み立て方や筆順と字形の関係を、高学年で筆順と点画のつながり、それに伴う読みやすさを学習できるようになっている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、日常の文字に生かすことができるようになっている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう、【考える→確かめる→生かす】の「学習の進め方」を示し、課題解決型学習を行う中で対話しながら学習を深められるよう配慮されている。</p> <p>○内容の構成・排列については、低学年では書く姿勢や筆記具の持ち方等の基礎となる内容を身につけながら、文字の点画の組み立てや筆順を学び、中学年では文字の部分の組み立てや行の中心を意識して、字形を整えられるよう学習を進め、高学年では書く速さや筆記具の選択をしながら、文字の大きさや配列について学習できるよう、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>					
使用上の配慮等	<p>○1年から3年の冒頭に「書写の約束」を、1年と3年の冒頭にそれぞれ「書写スタートブック」「毛筆スタートブック」を掲載し、姿勢や筆記用具の持ち方などをはじめとする、学習の基本となる内容をまとめている。</p> <p>○学習ポイントを「たいせつ」として各ページに明示し、ひと目で確認できるようにしている。さらに学年末に振り返ることができるよう、終盤に「〇年生のまとめ」として掲載されている。</p>					
その他	<p>○学習の前後に行う「書写体操」「整理体操」をQRコードで掲載している。</p> <p>○4年に「SDGsブック」を掲載している他、各学年にSDGsを意識した教材を取り上げている。</p>					